

## 一般社団法人 堺高石青年会議所 2026年度 地域共創まちづくり室

## 笑顔を届けるまちづくり委員会

委員長 太田 直樹

設置背景	堺市・高石市には魅力的な地域の資源があるにもかかわらず、その価値が十分に伝わっていないため、地域ブランドの向上が停滞しています。私たちのまちに求められている姿は、埋もれた魅力を再発掘し地域全体を巻き込み、市民一人ひとりと共にがわがまちを誇り、新たなまちの魅力や価値を創出する必要があります。
設置目的	■埋もれた魅力を発掘し地域ブランドの価値を向上させることを目的とします。市民一人ひとりが主体的となり地域全体を巻き込み、その価値を伝播する流れをつくり、持続可能な社会を実現します。
活動概要	①会員交流事業の実施(2月例会) ②泉州地域青年会議所合同例会の支援(6月) ③サマーコンファレンス推進計画(7月) ④まちづくり事業の実施(9月例会) ⑤全国大会神戸大会推進計画(10月) ⑥国内での災害発生時に支援活動の実施 ⑦関係諸団体との連携及び対応 ⑧年間を通じた会員拡大運動の実施
K G I	①参加者の100%が交流を通じて、メンバー同士の関係や絆が深まった状態 ②参加したメンバーの100%が支援の重要性を理解した状態 ③参加者70人を動員した中から次年度初の理事構成メンバーが5人以上輩出された状態 ④参加したメンバーの100%が地域貢献できたと感じた状態 ⑤参加者の100%が参加の価値と必要性を未参加のメンバーに伝えている状態 ⑥参加者の100%がJCを通じて地域を超えた支援活動ができたと感じた状態 ⑦2以上の連携団体と継続的に支援関係を構築している状態 ⑧メンバーの100%が拡大活動の重要性を理解した状態
政策手法	①メンバーの相互理解を高めるために、自ら関わり合う環境をつくることで、参画したくなる組織風土に醸成します。  ②JCが泉州地域の発展に寄与するために、各LOM間の連携を強化し信頼関係が深まる交流を促すことで、次年度以降もより強固な組織へと向上します。  ③メンバーがより高い視座をもった人財へと成長するために、全国の仲間と多様な価値観に触れ政策やJC運動を知ることで、未来の理事候補となるリーダーを育成します。  ④堺市・高石市の地域ブランドを向上させるために、地域資源を生かした事業を多くの市民に届けることで、関わり続ける地域コミュニティーを実現します。  ⑤メンバーが次世代を牽引する人財になるために、式典や表彰に参加して交流を図ることで、主体性をもったリーダーに成長します。  ⑥被災地への募金活動や物資の支援を円滑に行うために、街頭での呼びかけなど社会貢献と助け合いの精神を実践することで、地域内での社会的評価や信頼度を高めます。  ⑦行政・企業・地域団体などと信頼関係を築くために、互いの目的を理解し企画段階から参画することで、地域課題の解決に向けた共創体制を確立します。  ⑧組織を次世代へ継承するために、共に創る拡大活動を全体で行うことで、新入会員と入会が浅いメンバーの参画意識と挑戦意欲の向上を醸成します。
パートナー	①なし ②泉州地域各地青年会議所 ③日本JCサマーコンファレンス特別委員会、横浜JC ④堺市・高石市行政、堺市・高石市民、一般企業、堺高石JCシニア・クラブ、関係団体 ⑤日本JC全国大会運営会議、神戸JC ⑥堺市・高石市の市民 ⑦行政、企業、各種団体 ⑧堺高石JCシニア・クラブ